

「防災公園」グループ事業計画書 概要版

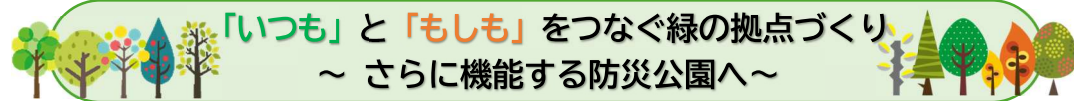
1 管理運営に関する基本的事項

本グループの公園は、発災時にいのちを守る避難場所としての役割と、大規模救出救助活動拠点としての役割を持っています。私たち東京都公園協会は、日頃から地域と連携して災害対応力の向上に努め、発災に備えた万全な体制を構築し、実践的な訓練を実施しています。

■防災公園グループの管理運営における基本理念

防災公園の特性やこれまでの取組実績を踏まえ、「いつも」動植物の生息環境や成長を見守り、緑あふれる公園に集う人々と地域づくりを進めるとともに、「もしも」の時に備え、地域の防災拠点としての災害対応力を一層強化させ、人々の命を守るため、次のように基本理念を設定します。

基本理念



視点① 災害対応力のアップデート

- 発災時の機能を発揮し、東京都機動班や区市の動きをサポートできるよう、組織体制を構築し、平常時から社内訓練を実施
- 区市との確認書締結と、防災訓練・防災フェスタ等での連携
- 地域住民とともに実施してきた防災訓練により、地域の災害対応力を向上
- 震災以外にも激甚化する気象災害、噴火災害等の対応
- 地域住民や災害時要配慮者に対する支援の構築



視点② 地域連携によるパークライフ創出

- 地域の人々と一緒に作るイベントの実施
- 障害の有無にかかわらず誰もが安心して遊ぶことができるインクルーシブな環境の提供
- 気軽なボランティア参加や企業ボランティアの参加拡大
- パークミーティングによる、利用者の声を反映した公園管理



視点③ 未来へつなぐ環境共生社会の実現

- 生物多様性保全戦略に基づいた希少動植物の把握と、環境に配慮した維持管理
- 地域と連携した野鳥や動植物の生育環境保全と環境教育
- 樹木点検アプリを活用した適切な樹木管理による、居心地良く過ごしやすい公園の提供
- 自然観察会等で公園に生息する動植物について普及啓発



2 運営管理計画

■基本方針

- 公園別マネジメントプランに基づき、各公園の立地特性や利用特性等を捉えた管理運営を行います。
- 多様化する社会に対応し、誰もが参加しやすい交流の場を提供します。
- 身近にある豊かな自然や歴史資源を地域の誇りとして実感できるように、生物多様性の取組や、地域文化を幅広く発信し、普及啓発を行います。
- 利用者の価値観や行動の変化、ゆとりある空間に対するニーズの高まりに対応し、心地よい公園空間を提供します。
- 次世代を担う子どもたちが楽しく遊び、育っていく、子育て環境の向上に資する場を創出します。

(1)都立公園の管理運営についての実施方針と具体的な取組

運営管理の実施に際しては、パークミーティング等を実施し、地域、団体、企業等との連携や協働による運営を積極的に進めます。

(2)質の高いサービスを提供するための具体的な取組

地域連携によるパークライフ創出と未来へつなぐ環境共生社会の実現の視点を持って、質の高いサービスを提供していきます。

- ①災害対応力につながる安全安心環境の提供
- ②公園利用への誘引と利便性の向上につながる情報提供等
- ③豊かなパークライフを創出するサービス提供

●遊具の貸出し等

公園利用者が快適に過ごせるよう、ニーズに応じた遊具の貸出しを行います。

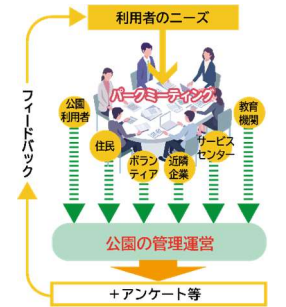
NEW!



●気候変動による取組の強化等

熱中症対策として、暑さで体調を崩した方が休める空間を提供します。

NEW!



(3)利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

多様な方法で要望や苦情等を把握し、対応やプロセスを見える化し、関係各所との調整及び対応の上、管理業務に反映させます。また、窓口等での著しい迷惑行為に関して、組織的な対応によってカスタマーハラスメントの防止に努めます。

●多様な声を反映した公園づくり！

よりよい公園利用のため、ルールの変更等を伴う場合は、現状確認の調査や関係団体等の利害関係者と話し合いの場を設ける等、東京都と連携して主体的に解決に導きます。

(4)都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

これまで培ってきた信頼関係により、地域住民やボランティア、地元自治体、NPO、民間事業者等の多様なコミュニティと連携し、地域一体となった事業で公園の魅力や地域の価値の向上に貢献します。**=地域とともに公園をつくるパークミーティング**

①周辺エリアの魅力や回遊性の向上

②活動の場への協力

●気ままにボランティア

気軽に選択し参加できるよう活動機会を提供し、園内美化および地域の活性化を図ります。



③来園者交流できるイベント

●樹木健康診断・樹木ガイドツアー

NEW!

G-Biz

ボランティアやNPOと連携し、樹木の保全や管理方法等についての自然観察会を開催します。



(5)公園の魅力向上と利用促進等を図るための自主事業等の提案

公園や地域の新たな魅力や価値、賑わい等を創出するために、いくつかの財源を利用し、**公園の利用特性やニーズに根差した収益事業を展開**します。販売や参加費等によって収益をあげた場合は公園に還元し、さらなる公園の魅力向上に使用します。

①新規イベントの実施

②具体的な取組

- ・自然・歴史文化のイベント
- ・マナーアップ向上
- ・デジタル技術の活用
- ・飲食や記念グッズ
- ・公園特性に合わせたイベントや連携事業

●公園フェスタ

誰もが楽しめる体験プログラムやマルシェを開催し、公園の愛着を高め地域の価値向上につなげます。



「防災公園」グループ事業計画書 概要版

(6) 共生社会の実現に向けた取組

オリンピックレガシーを継承し、多様性を尊重する共生社会の実現に向け、「**インクルーシブ社会への貢献**」、「**身近なスポーツ体験**」を重視した取組を推進していきます。

- ①インクルーシブな空間の創出 ———— ●インクルーシブイベントの開催 **NEW!**
- ②ユニバーサルデザインに配慮した情報発信 インクルーシブひろば内でイベントを開催し、ユニバーサル社会への理解を図ります。
- ③多世代にわたる健康増進



(7) 公園を舞台に緑を知り、親しむ「東京グリーンビズムーブメント」を展開するための取組

東京グリーンビズコラボレーションパートナーでもある私たちは、「**公園は地域の緑の拠点**」であると考えます。東京グリーンビズの展開により緑と公園をつなぎ、「まもる」「育てる」「活かす」インフラとして緑の可能性について未来に向けて発展させていきます。



「まもる」取組

●健全な樹林づくりと公園資源循環の取組

安全で快適に公園利用してもらうため、不健全な樹木は樹木診断等を行います。樹木の剪定枝等はチップやたい肥として再資源化する他、遊びやイベント等で再利用し、公園資源についての普及啓発に努めます。

「育てる」取組

●東京グリーンビズムーブメントの推進

身近な公園で、人々が緑とふれあう機会を提供し、自然環境への理解と関心を深めます。

●樹木点検アプリの導入

現地で携帯端末を使い、樹木点検アプリで入力を行うことで、即時に各園の点検票やMAPが作成されます。

- 倒木等の未然防止
- 点検員他、職員の作業効率アップによる有効な維持管理業務の遂行



「活かす」取組

●グリーンインフラの普及啓発

公園内にグリーンインフラを見本施設として設置し、利用者へグリーンインフラの役割や意義を普及啓発します。

●「都立公園リフレッシュプロジェクト」

東京都による「都立公園リフレッシュプロジェクト」が進められる公園においては、魅力的で印象的な景観を創出し、誰もが楽しめる公園となるよう、適切な維持管理を行います。



雨庭
(レインガーデン)

3 施設維持管理計画

■基本方針

- 防災関連施設の機能の維持を確実に実施します。
- 公園の利用状況に応じた安全・安心・快適な公園づくりに取り組みます。
- 様々な利用者の声、ユニバーサルデザインの視点に基づいた施設補修・修繕を行います。
- DXを活用したデータ管理により、業務効率の向上に努めます。
- 公園独自の緑の特性を引き出す、地域に愛される景観の創出を行います。
- 「維持管理水準書」を参考に、利用者にとって安全・安心で快適な空間を確保し、公園の良好な景観を維持していくために、より高品質な維持管理に取り組みます。

(1) 適切な維持管理を行うための取組

- ①予防保全に基づく施設管理
- ②コンプライアンスに基づく施設管理
- ③DXによる業務効率化
- ④環境負荷低減の取組

●発生材を活用した取組

剪定で出た発生材を有効活用し、バイオネストの設置や公園でのユニバーサルスポーツを楽しむ用品を提供します。



(2) 事故を未然に防ぐ対策や、自然災害及び感染症などの社会課題へ対応するための取組

組織的な安全管理体制の構築とマニュアルに基づいた体系的で的確な安全管理により、平常時から事故や災害に備え、事故や災害の発生時には利用者の安全を第一に、タイムラインを活用して、迅速かつ的確に対応します。

(3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組

- 都民からの施設補修・改良の要望に対しては、現地確認等状況を的確に把握し対応します。
- 関連情報を収集し、安全・安心、利用者のニーズ等の総合的観点から、優先度を評価し、費用対効果にも留意しながら効果的な補修・改良に積極的に取り組みます。
- 東京都からの要望・指示、東京都工事や新規開園に関しては、進め方、工法、役割分担等を協議し、速やかに対応します。

- ①緊急案件・通常案件
- ②施設の補修・改良提案
- ③多様な主体と連携した維持管理手法の工夫

協会会の指導の下、地域住民も参画しワークショップ形式の補修等を実施して維持管理の工夫を図ります。



(4) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

防災公園の緑として激甚化する気象災害に備え、緑と水のネットワークの拠点として、東京の風格ある都市景観を形成する維持管理を目指します。

- ①生物多様性の保全
- ②アプリを活用した新規取組
- ③パークビューの創出
- ④緑に関する情報発信

●新規に配置した自然普及担当職員が主となり、貴重な生物多様性データの調査・蓄積とモニタリングを実施しながら柔軟な管理を実施します。



4 防災業務計画

■基本方針

- 災害発生時に大規模救出救助活動拠点としての機能が発揮できるよう、東京都現地機動班やその他の活動団体と平常時から適切に連携・協力します。
- 防災公園が避難場所等としての機能を十分発揮できるよう、避難場所の運営主体となる地元区市との防災協力協定、確認書の締結を都と連携して進めます。
- 災害対応で公園が担う、フェーズごとの機能・役割に合わせた防災業務体制を整備します。
- 発災時における防災公園の役割について普及啓発を行います。
- 多様な避難者に対応したインクルーシブ防災の実施や、地震以外の大規模災害を想定した対応を進めます。

(1) 防災公園グループとしての平常時の対応

- ①都民の災害対応力を高めるための情報発信の強化
- ②新たな災害想定や減災対策への対応
- ③フェーズフリーな取組

- 防災関係機関との連携強化
現地機動班と連携した訓練
- 地元区市および地域との連携強化

(2) 防災公園グループとしての災害時の対応

私たちは、発災時、組織的に災害対応体制を構築し、大規模救出救助活動拠点の支援を行うとともに、避難者への的確な対応や円滑な公園機能の転換、東京都および地元等との情報の共有を実行します。

(3) 地域との連携、防災訓練の実施

- ①組織内の災害対応力を高める防災訓練等の実施
- ②防災訓練の充実による地域の災害対応力の向上

- 災害に備えた災害用トイレ周辺の環境改善と周知
災害用トイレの運用ルールづくりを進めるとともに、組み立てや利用方法等を利用者に案内します。



- スポーツ要素を取り入れた防災イベント
・防災ゲーム
身体で覚えることを目的に体験型イベントを実施します。

